

第3回新潟県地域未来戦略有識者会議 議事概要

1 開催概要

- (1) 日 時：令和8年7月13日（月）13：30～15：30
- (2) 会 場：新潟県自治会館本館3階301会議室
- (3) 出席者：委員11名中、10名出席（うちWEB出席1名）

2 議事概要

(1) 知事政策局長挨拶

(2) 資料説明

資料2「地域未来戦略に関する国の動き」、資料3「新潟県及び市町村における検討状況」、資料4「第2回有識者会議意見への対応等について」、資料5「フードテック」、資料6「電子機械・情報通信関連産業」、資料7「アニメ」、資料8「金属洋食器」、資料9「摂田屋・宮内地区：歴史と醸造・発酵文化を核とした観光戦略」、資料10「上杉謙信公を核としたインバウンド誘客」の説明を行った。

(3) 主な委員意見

資料説明後の意見交換における主な委員意見は以下のとおり。

ア 地域産業クラスター（フードテック）について

- 今回のフードテックについては、ぜひ申請していただきたい。
- 新潟の食品にかかる強みとして、水がいい、土壌がいいというところが挙げられるが、計画の中に堆肥製造等の領域が加わったことにより、食品残渣や循環型の視点が入り、他県との差別化につながっている。
- フードテックはかなり裾野が広く関係者も多いことから、計画に核となる企業として記載されることへのメリットや追加でのエントリーについても周知できるとよい。
- 民間の投資がかなり大きくなる見込みだが、県としてもさらに民間の投資を支援できるような政策を進めていくことが非常に大事になってくる。

イ 地域産業クラスター（電子機械・情報通信関連産業）について

- 電子機械関連分野にかかる地域産業クラスター計画を提出することは、県内の産業の特長からすると適切、適当であるとする。
- 個別企業同士で自社の強みをお互いに見せることは非常に難しく、企業間連携が図りづらいというケースが多い。各地域の関係する業種の団体など、それぞれの企業の持つノウハウや強みをしっかりと情報共有し、連携していく仕組みが必要。

ウ 地域産業クラスター（アニメ）について

- 地域から知的財産を生み出していき、長い時間軸でこの産業を育成していくという計画かと思う。しっかりとアニメ産業の育成に取り組んでいただきたい。
- 「アニメ」は新潟として、今後も進められる分野であると考えられる一方、国の10成長戦略の17分野は「コンテンツ」としてアニメの他にもゲームや音楽等も包含している。新潟コンピューター専門学校や情報専門学校など映像に長けた人材を輩出している現状もあるため、そのような他のコンテンツ産業を取りこぼしてよいのか検討してほしい。
- 事業規模や実施内容について、現在取り組んでいる即戦力の輩出に向けた人材育成の取組や、さらなる高付加価値化のために実施できる可能性のある事柄など、もっと広がりのある計画とした方がよい。
- 正社員率など、すごく高い目標設定になっている項目があり、そこはもっと詰めていただくことが望ましい。
- 各地域との関わりについても今後確立していく必要がある。
- 域内外の企業を束ねて一定の時間軸で産業育成していくことは、個々の企業の取組だけでなく、伴走支援が不可欠。

エ 地場産業成長プラン（金属洋食器）について

- 特になし

オ 地場産業成長プラン（摂田屋・宮内地区：歴史と醸造・発酵文化を核とした観光戦略）について

- 核となる事業者として記載がある「観光まちづくり協議会」について、その内容や構成メンバー、エリア内における立ち位置等を明確に記載した方がよい。

カ 地場産業成長プラン（上杉謙信公を核としたインバウンド誘客）について

- 民間の主体的な関わりが非常に重要である。民間がどれくらいの意欲をもってこの取組に参加するのかが資料からは読み取りづらいので、目指す目標に対する設定の根拠などに民間の動きも想定した記載とすべき。

キ その他

- 第２弾のとりまとめに向けて、第１弾の提出がなかった市町村からもプランが出てくるといい。市町村がプランを検討するにあたって、県から市町村に対して、国や有識者会議における留意点等の情報共有や助言をお願いしたい。

以 上